

令和4年度越生町教育委員会 事務局点検評価報告書

[対象：令和3年度の教育行政施策]

～越生町教育振興基本計画の達成に向けて～



3ヶ年におよぶ保護対策（倒木対策工事事業）を終えた「上谷の大クス」

越生町教育委員会

令和4年8月

も く じ

	頁
1 はじめに	2
2 点検評価の対象及び方法	2
3 『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策	3
4 点検評価調書	4
I 学校教育の充実	4
(1) 確かな学力と自立する力の育成	4
(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成	7
(3) 学習環境の整備・充実	10
(4) 教職員の指導力向上	12
II 家庭・地域の教育力の向上	14
(1) 学校運営協議会制度の導入	14
(2) 越生町「3つのあ」の推進	15
(3) 学校応援団活動の推進	17
(4) 家庭教育支援体制の充実	18
(5) 児童生徒の安心・安全の確保	20
III 生涯学習の推進	22
(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進	22
(2) 越生が誇る歴史文化の継承と活用	24
(3) 生涯学習施設の環境整備	26
5 教育委員会会議等の活動状況	28
6 (参考資料) 令和3年度「家庭生活・家庭学習・3つのあ」に についてのアンケート集計	30

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と規定されていることから作成をいたしました。

越生町では、教育基本法第17条第2項に基づき『教育振興基本計画』を策定し、平成31年度から令和5年度までの5年間における教育の方向性を示しました。この自己点検評価の項目は、『越生町教育振興基本計画』の達成に向けて実施している各種事業の成果と課題について、令和3年度の越生町教育委員会の事業等にかかる点検及び評価をまとめたものです。

2 点検評価の対象及び方法

『越生町教育振興基本計画』（以下「基本計画」）の具現化に向けて、毎年度、重点施策を策定し、その取組状況を点検評価しました。

点検評価は、以下のように点検評価調書としてまとめました。

基本目標	(基本計画の3つの基本目標)	総合評価
重点施策	(基本目標を達成するための重点施策)	S・A・B・C
重点施策の主な視点	(基本計画に記載されている取組の視点)	
重点施策の内容	(年度において特に重点的に推進する具体的取組)	
指標と実績	(成果と課題の元となる指標と実績)	
成果の概要	(成果の概要の文章記述)	
課題	(課題についての文章記述)	
意見・提言	(学識経験者からの意見・提言)	

点検評価調書のうち、総合評価は「S・A・B・C」とし、区分の目安として

S：期待以上の成果を上げた

A：期待通りの成果を上げた

B：期待通りの成果を上げていない

C：実施していない

としました。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づく、有識者の活用については、以下の学識経験者2名から御意見などをいただきました。

伊藤 明 氏	元公立小学校長、元川越市教育長
原 陽子 氏	元公立小学校長

3 『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策

【学校教育の充実】

- 確かな学力と自立する力の育成
- 豊かな情操と健やかな心身の育成
- 学習環境の整備・充実
- 教職員の指導力向上

【家庭・地域の教育力の向上】

- 学校運営協議会制度の導入
- 越生町「3つのⒺ」の推進
- 学校応援団活動の推進
- 家庭教育支援体制の充実
- 児童生徒の安心・安全の確保

【生涯学習の推進】

- 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進
- 越生が誇る歴史文化の継承と活用
- 生涯学習施設の環境整備

4 点検評価調書

I 学校教育の充実

(1) 確かな学力と自立する力の育成

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(1) 確かな学力と自立する力の育成		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じたきめ細やかな指導 ○ 幼保・小・中のなめらかな接続 ○ 家庭生活・家庭学習の充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期制や土曜授業日の特色を最大限に生かして授業時間数を十分に確保し、学習指導要領に示された主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を推進する。 ・ 外国語活動や外国語（英語）の学習において、各校常駐のALTを活用したり、英語検定の受験など具体的な目標をもたせたりすることで、意欲的に取り組めるように指導する。 ・ 児童生徒1人1台に整備したパソコンなどのICTを活用した多様な授業を展開し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図る。 ・ 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達など情報活用の実践力を育成し、人前で堂々とわかりやすく自分の意見を発表できるように様々な機会を与え、指導の充実を図る。 ・ 町費学習支援員や町独自の35人学級を生かし、学習室等を活用してチーム・ティーチングや少人数指導によるきめ細やかな指導を展開する。 ・ 越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、小中学校9年間の一貫した教育を推進する。 ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」、「より良い学習の進め方」リーフレットや夏休み前の学習成績表などの活用を指導し、家庭学習の習慣化を強化する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	町費の学習支援員等の配置数	小学校：8名 ※ 前年度7名 中学校：5名 ※ 前年度5名	
	英検の英検受験者等	受験者数：202名 ※ 前年度117名 （小：30名、中：172名） 中3の3級以上の取得率：54.5% ※ 前年度37.1%	
	小小連携に関わる授業の実施状況	1年…生活科での合同授業 2年…外国語活動での合同授業 3年…合同の梅もぎ体験 4年…学級活動での合同授業 5年…宿泊学習、社会科見学での活動 6年…修学旅行、社会科見学での活動	

	<p>リーフレットで示す<u>家庭学習時間</u>の目安について、「いつもしている」＋「だいたいしている」の割合</p> <p>※ 家庭学習時間の目安</p> <p>小1・・・15分、小2・・・20分 小3・・・30分、小4・・・40分 小5・・・50分、小6・・・60分 中1・・・60分、中2・・・90分 中3・・・120分</p>	<p>小1・・・94.1%、小2・・・77.7% 小3・・・92.6%、小4・・・88.1% 小5・・・79.4%、小6・・・58.2% 中1・・・70.3%、中2・・・66.6% 中3・・・91.7%、全体 80.0%</p> <p>※ 前年度</p> <p>小1・・・84.7%、小2・・・96.2% 小3・・・91.8%、小4・・・80.0% 小5・・・66.2%、小6・・・82.4% 中1・・・63.8%、中2・・・62.2% 中3・・・81.4%、全体 79.0%</p>
<p>成果の概要</p>	<p>○ 個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、引き続き、2学期制や土曜日授業を活用し、習熟度に合わせた指導が行えるよう授業時数を確保した。また、町費の学習支援員等を配置し、教育相談体制を充実させた。英語検定の受検など具体的な目標をもたせたりすることで、意欲的に取り組めるように指導し、受験者数が大幅に増加した。ICTを活用した多様な授業展開に関しては、一人一人のパソコン端末を活用し、子供たちがパソコンを使って、主体的に学習に取り組めるよう、パソコンに触れる機会を増やすことができた。</p> <p>○ 幼保・小・中のなめらかな接続を行うために、就学支援員会での情報交換、各学校で実施する連絡会、小学校間の連携（小小連携）の授業等を充実させた。特に小学校間の連携では、前年度、コロナ禍で限られていた交流授業等が、各学年ともに行うことができたり、オンラインでの打ち合わせも盛んに行われたりと恒常的な交流が図られた。</p> <p>○ 家庭生活・家庭学習の充実を図るために、「家庭生活・家庭学習のすすめ」リーフレット、「より良い学習の進め方」リーフレットを活用し、繰り返し指導を行った。また、保護者会や学級懇談会でも、家庭学習の習慣化について説明し、家庭での協力を依頼した。アンケート結果でも、前年度よりも良い傾向を示すことができた。</p>	
<p>課題</p>	<p>一人一台のパソコン端末の活用では、子供たち一人一人の学習内容の定着や学習意欲の向上が図れるよう、学校間等の差が生じないように支援が必要である。また、幼保・小・中のなめらかな接続をさらにすすめるため、様々な交流を検討していく。</p>	

**意見
・提言**

A氏

- ・ 個に応じたきめ細かな指導を充実するために、2学期制や土曜授業日の特色を生かし、授業時間数をしっかりと確保している。町独自の学級編制の実施や町費学習支援員等の配置、ALTの配置、タブレットPCの活用などが大変充実しており、児童生徒の学習内容の定着と学習意欲の向上が期待できる。
- ・ 小小連携や小中一貫教育の取組は成果を上げているので、今後も継続し、より一層充実していただきたい。
- ・ 家庭学習については、時間の目安を設定し、家庭学習の習慣化を図る取組は良い傾向にあり、今後も継続していただきたい。

B氏

- ・ 2学期制や土曜授業日の実施により授業時数が確保され、習熟度に応じた指導、個に応じた指導がさらに推進される事が期待できる。
- ・ 35人学級の実施や学習支援員等の多数配置は素晴らしい。特に町費の学習支援員が増員され、少人数指導やきめ細やかな教育の推進が期待できる。現在は児童も家庭も多様化しているので、個に応じた支援や指導を行う事ができ、学力向上に効果的である。
- ・ 児童生徒一人一人が自在にパソコンを活用し、主体的に学習に取り組むことで、学習意欲と学習効果の向上に期待する。ICTを活用した多様な授業展開のための教職員の指導力向上が必要である。
- ・ 確かな学力と自立する力の育成のためには、家庭学習が欠かせない。家庭学習をしっかりと継続することが、自立する力の育成につながり、ひいては学力の向上につながる。「家庭生活・家庭学習のすすめ」リーフレット等を活用し、家庭と連携して、家庭学習の充実が継続されることに期待する。

(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育、人権教育の充実 ○ 食育教育の充実 ○ 心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進する。 ・ 小中学校9年間を見通した継続的な生徒指導を実践し、不登校やいじめ等の問題行動の解消に向け、適応指導教室の活用や、スクールカウンセラー、さわやか相談員及びスクールソーシャルワーカー等、関係諸機関との連携を強化し取り組む。 ・ 小学校の低学年・中学年・高学年、中学校の各学年など、それぞれの発達の段階に応じた情報モラル教育を推進する。 ・ 道徳科を中心とした道徳教育を展開し、全ての教育活動を通じて道徳的実践を促す指導を充実する。 ・ 越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動に取り組む。 ・ 体力の向上を目指し、たくましさや粘り強さを養う体育活動を推進する。 ・ 生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り、学校体育活動を推進する。 ・ 自校給食の特性を生かし、地産地消を進め、地域への関心を高める。 ・ 学校給食を核に家庭や地域と連携して望ましい食習慣の確立を図り、食育を推進する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	いじめの解消率	小学校・・・100% 中学校・・・100%	
	不登校数等	小学校・・・1名 0.2% ※ 前年度3名 中学校・・・10名 4.6% ※ 前年度6名	
	給食の地場産物の活用状況調査 (11月実施)	26.0% ※ R2・・・29.2% R1・・・32.4% H30・・・23.5%	
	新体力テストの結果	新体力テスト総合得点 小学校：50.8 (県平均47.5) 中学校：50.6 (県平均47.1) ※ 前年度は、県平均等の比較資料がないため、参考となる実績はなし。	

	<p>朝ご飯を毎日食べている割合</p>	<p>小1・・・96.1%、小2・・・91.0% 小3・・・95.0%、小4・・・97.0% 小5・・・91.2%、小6・・・89.5% 中1・・・93.8%、中2・・・88.8% 中3・・・95.9%、全体 93.2%</p> <p>※ 前年度 小1・・・78.5%、小2・・・91.0% 小3・・・93.2%、小4・・・88.6% 小5・・・86.8%、小6・・・82.4% 中1・・・85.5%、中2・・・86.8% 中3・・・87.2%、全体 86.8%</p>
	<p>リーフレットで示す睡眠時間の目安以上の睡眠について、「いつもとっている」+「だいたいとっている」の割合</p> <p>※ 睡眠時間の目安 小1～小4・・・9時間 小5、小6・・・8時間 中1～中3・・・7時間30分</p>	<p>小1・・・94.2%、小2・・・82.1% 小3・・・92.5%、小4・・・89.5% 小5・・・83.8%、小6・・・77.6% 中1・・・73.5%、中2・・・76.2% 中3・・・52.0%、全体 79.3%</p> <p>※ 前年度 小1・・・73.8%、小2・・・97.5% 小3・・・93.2%、小4・・・80.0% 小5・・・86.7%、小6・・・85.3% 中1・・・75.4%、中2・・・60.5% 中3・・・55.8%、全体 78.3%</p>
<p>成果の概要</p>	<p>○ 道徳教育、人権教育を充実させるために、各学校とも、道徳授業を核として、学校行事や部活動、その他様々な体験活動に取り組むことができた。特に越生中学校では、西部地区の道徳科についての発表を行い、学校全体で取り組むことができた。また、いじめや不登校等の問題行動の対応としては、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、適応指導教室指導員等を活用し、教育相談体制の充実が図られた。</p> <p>○ 食育教育を充実させるために、学校給食を中心に栄養教諭と調理員のチームワークを図って食育教育を進めることができた。特に、11月の「埼玉150周年記念給食」では、埼玉の偉人に因んだ献立を通して、子供たち郷土を愛する心情を食育の観点からも育むことができた。</p> <p>○ 心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成のために、学校体育活動を中心に、生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図った。新体力テストの結果では、県の平均を大きく上回ることができた。生活習慣については、「越生町小中一貫教育」のリーフレットのなかで、睡眠時間の目安を設定したり、朝ご飯を食べることを推奨したりして、改善のための啓発を行った。アンケート結果では、前年度より、良い傾向となっている。</p>	

<p>課題</p>	<p>越生町の不登校児童生徒の状況は、減少しているものの、未だ喫緊の課題となっている。食育の推進については、食に対する理解はとて進んでいることが分かる一方、各学年とも、朝食を食べずに登校する児童・生徒がいるので、今後その理由を把握し、対応する必要がある。また、今後もさらなる地場産物の活用が求められる。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育や人権教育、様々な体験活動、積極的な生徒指導を通して児童生徒の豊かな心を育てている様子がうかがえる。不登校やいじめ等の問題行動の解消は、喫緊の課題となっている。関係諸機関と連携して、不登校ゼロを目指して粘り強く取り組んでいただきたい。 ・ 学校給食の取組が充実しており、成果を上げている。地場産物の活用をさらに進めていただきたい。 ・ 新体力テスト、生活習慣のアンケート結果は良い傾向にあり、学力と同様に、小中一貫の教育を今後も継続していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳授業を核として、道徳教育、人権教育が推進されているのは良い。 ・ 不登校児童生徒の問題には、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、適応指導教室指導員等、教育相談体制が充実されているので、これからも粘り強く、支援を続けていただきたい。 ・ 家庭の学習習慣や生活習慣の定着のために、越生町小中一貫教育のリーフレットや啓発は継続していただきたい。 ・ 学校給食を核にした、食育教育のさらなる推進を期待している。

(3) 学習環境の整備・充実

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(3) 学習環境の整備・充実		S
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な環境整備 ○ 教育機器の整備・充実 ○ 学校図書館の整備 ○ 地域教材の活用 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した情報活用能力の育成のための環境を計画的に整備する。 ・ 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図る。 ・ 各地区の育成会等と連携した長期休業中の学習の場の設定や充実を図る。 ・ 小学校の段階から外国語教育の充実を図るため、小・中学校に常駐のALTを配置する。 ・ 学校図書館と町立図書館の連携が図れるように整備していく。 		
指標と実績	指標	実績	
	令和3年度の主な工事等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館床修繕（越生小） ・ グラウンド遊具修繕（越生小） ・ 体育館屋根改修工事（越生小） ・ 水道蛇口交換工事（越生小） ・ 外トイレ改修工事（越生小） ・ 体育館トイレ改修工事（梅園小） ・ 浄化槽修繕（越生中） 	
	越生町子ども未来大学の実施状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止	
	サマースクールの実施状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な環境整備を行うために、計画的な改修等を行った。新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、蛇口、トイレ、避難所となる体育館等の整備を行った。また、感染拡大防止事業において、マスクや消毒液等の消耗品の購入を行った。 ○ 教育機器の整備・充実を図るために、新学習指導要領の完全実施に向けて、計画的に教師用の指導書やデジタル教科書等の整備を行った。 ○ 学校図書館の整備を図るために、学校図書館と町立図書館の連携を図り、町立図書館から各学校へ図書貸し出しを行った。 ○ 地域教材の活用を図るために、例年、町内の5ヶ所を設定し、地域の育成会や大学生に講師を依頼して実施していたサマースクールや、越生町ならではの教育資源を活用した学びの場である越生子ども未来大学は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止とした。 		

<p>課題</p>	<p>老朽化に伴う施設・設備の計画的な整備が必要である。今後も、各校との情報交換や実態把握を適切に行い、教育委員会施策や予算との兼ね合いから施設の改修計画を検討していく。また、貴重な学習の場であったサマースクール、子ども未来大学は実施できなかったが、地域教材の活用が図られるように、今後も準備を継続していく。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境の整備は他市町村よりも充実していると思われる。老朽化に伴う施設・設備の整備については、今後も計画的に進めていただきたい。 ・ 教育機器の整備・充実については、計画的に整備されてきているので 有効活用をお願いしたい。 ・ 学校図書館と町立図書館の連携は良いことである。読書好きの児童生徒を増やして欲しい。 ・ サマースクール、子ども未来大学の取組は、素晴らしい取組である。現在、新型コロナウイルスの影響で中止となっているのが残念である。今後も準備を継続していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校で施設設備の改修が計画的に行われているのは喜ばしい。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策も推進されている。 ・ ICTを活用した情報活用能力育成のために、教育機器の整備・充実がされているが、教育機器は更新されるので、計画的に進めてほしい。 ・ 近年は、地震・豪雨・突風・高温等いろいろな自然災害が懸念されている。子供の安全確保のために、それらを想定した環境整備をお願いしたい。

(4) 教職員の指導力向上

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(4) 教職員の指導力向上		A
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の充実 ○ 町費職員等の活用促進 ○ 小中一貫教育の推進 ○ 人事交流の活性化 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業が実践できる指導力を身に付ける。 ・ ICTを活用した授業を実践するための研修を充実する。 ・ 越生小学校、梅園小学校、越生中学校の3校が、「知・徳・体」の9年間を見通した小中一貫教育を推進するために連携を図る。 ・ 全教職員を対象に3校合同研修会を実施し、テーマに沿った研修を実施する。 		
指標と実績	指標	実績	
	学校指導訪問の実施回数	小学校…各6回 中学校…6回	
	ICT活用に関わる研修の実施回数	小学校…2回 中学校…2回	
	小中一貫教育に関わる委員会(学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会)の実施回数	年間9回	
	3校合同研修会の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの活用能力に関する研修 ・ 同和教育に関する研修 	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の充実を図るために、越生小学校、越生中学校では、西部教育事務所より、梅園小学校では、西部教育事務所及び近隣市町より、指導者を招聘し、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業展開についての授業研究や校内研修を実施した。また、一人一台に整備されたパソコン端末の有効活用するために、教職員のICT活用能力を高める研修会の実施及び、校内指導体制の充実を図るためのICT活用委員会を開催した。 ○ 町費職員等の活用促進を図るために、各学校の実態や発達段階に応じて、教科担当教員が様々な指導法の実践が可能となるように適材適所の配置を行うことができた。 ○ 小中一貫教育の推進を図るために、小中一貫教育に関わる委員会(学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会)において、小学校、中学校での学習指導、生徒指導等に連続性を持たせるよう「越生町小中一貫教育のリーフレット」を活用して、目指す越生町の子供像を共有した。リーフレットで示す「家庭学習時間の目安」、「睡眠時間の目安」をアンケート結果から分析し、改善のための啓発を行うことができた。また、3校の全職員対象の研修会では、小中一貫教育の理念を共有することができた。 		

	<p>○ 人事交流の活性化を図るために、入間北部教育委員会連絡協議会を中心に情報交換を行い、越生町の課題に即した積極的な人事異動を実現した。</p>
課題	<p>ICTに関する研修会では、教員の活用能力の差がある。3校の全職員対象の研修会では、本町職員のニーズに合わせたテーマを扱い、指導力を高めたい。</p> <p>コロナ禍において、減少した研修会を補うため、経験年数の少ない教職員向け研修会の充実が課題となっている。</p>
意見 ・ 提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の指導力向上のため、研修がしっかりと行われていることは良いことである。研修により、児童生徒の学力や体力、豊かな人間性の育成に大きな成果を上げることが期待される。今後も教職員の指導力向上のため、学校での地道な実践と、教育委員会による指導支援に努めていただきたい。また、経験者研修にも力を注いでいただきたい。 ・ 小中一貫教育の推進を図るために、学力向上委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会が機能している様子が見える。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業展開についての授業研究や校内研修が行われ、教職員の指導力向上が図られているのは良い事である。 ・ 一人に一台整備されたパソコン端末を有効に活用し、情報活用能力育成のために、教職員のICT活用能力を高めることが重要である。 ・ 3校の教職員で越生町の小中一貫教育の理念を共有することを、今後も推進していただきたい。

Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上

(1) 学校運営協議会制度の導入

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(1) 学校運営協議会制度の導入		A
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・地域の連携・協働の強化 ○ 小中一貫教育の推進 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの取組を継承しつつ、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を実現するための組織づくりに努める。 ・ P T A活動を支援し、保護者と教職員の連携のとれた活動を推進する。 		
指標と実績	指標	実績	
	学校運営協議会の実施状況	<p>越生小学校 6/5、11/6、3/2・・・計3回 (内3/2は書面開催)</p> <p>梅園小学校 6/22、11/30、2/25・・・計3回 (内2/25は書面開催)</p> <p>越生中学校 6/25、10/30、2/18・・・計3回 (内2/18は書面開催)</p>	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・地域の連携・協働の強化を図るために、学校運営協議会を開催し、学校行事や授業の参観、学校評価の結果を通して地域、保護者の立場からの様々な意見を聴取することができた。また、本町の課題となる事柄（児童生徒数の減少等）についても総合的な観点から意見をいただくことができた。 また、地域の理解を得て学校運営を進めるため、導入して15か年が経過する二学期制について、二学期制継続検証委員会を設置し調査審議を行った。 ○ 小中一貫教育の推進を図るために、越生町小中学校連合P T Aの活動を支援し、意見要望を聴取し、改善に向け取り組むことができた。 		
課題	<p>学校運営協議会協議内容の充実が図られるよう、各学校の課題を明確にして会を進めたい。また、小中一貫教育を意識し、町全体の課題についても協議を重ねていきたい。</p>		
意見・提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会制度が本格導入されて3年目。校長は、委員から様々な意見をいただき、学校経営をより充実させることが大切である。当該校や本町の教育課題について意見聴取するなど、内容が充実してきていると思われる。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度はコロナ禍のために書面開催も行われたが、学校・家庭・地域が一体となった教育の実現のために、各学校で色々な意見交換がおこなわれている。 		

(2) 越生町「3つの $\text{\textcircled{あ}}$ 」の推進

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(2) 越生町「3つの $\text{\textcircled{あ}}$ 」の推進 ※ 3つの $\text{\textcircled{あ}}$: あいさつ、あしもと、あとしまつ		A
重点施策 の 主な視点	○ 大人が手本を示すまちづくり ○ 発達の段階に即した「3つの $\text{\textcircled{あ}}$ 」の推進 ○ 幼保・小・中学校の連携強化		
重点施策 の 内容	・ 越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの $\text{\textcircled{あ}}$ 」のリーフレットを活用し、子供の発達の段階に応じた内容を推進する。 ・ 学校・家庭・地域が連携し、様々な機会を捉えて「3つの $\text{\textcircled{あ}}$ 」を励行する。		
指標 と 実績	指標	実績	
	3つの $\text{\textcircled{あ}}$ 「あいさつ」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合	小1・・・92.2%、小2・・・92.5% 小3・・・95.0%、小4・・・97.0% 小5・・・95.6%、小6・・・92.6% 中1・・・98.4%、中2・・・98.4% 中3・・・100%、 全体 95.8% ※ 前年度 小1・・・87.7%、小2・・・93.6% 小3・・・94.5%、小4・・・95.7% 小5・・・92.6%、小6・・・94.1% 中1・・・100%、中2・・・98.7% 中3・・・100%、 全体 95.4%	
	3つの $\text{\textcircled{あ}}$ 「あしもと」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合	小1・・・94.1%、小2・・・95.5% 小3・・・85.0%、小4・・・98.5% 小5・・・88.3%、小6・・・92.6% 中1・・・93.8%、中2・・・96.8% 中3・・・100%、 全体 93.7% ※ 前年度 小1・・・93.8%、小2・・・87.2% 小3・・・90.4%、小4・・・88.5% 小5・・・89.7%、小6・・・95.6% 中1・・・94.2%、中2・・・94.7% 中3・・・100%、 全体 92.8%	

	<p>3つの㊦「あとしまつ」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合</p>	<p>小1・・・94.2%、小2・・・89.6% 小3・・・95.1%、小4・・・92.5% 小5・・・83.8%、小6・・・86.5% 中1・・・89.1%、中2・・・85.1% 中3・・・98.7%、全体 91.3%</p> <p>※ 前年度 小1・・・83.1%、小2・・・92.3% 小3・・・97.2%、小4・・・88.6% 小5・・・91.1%、小6・・・94.1% 中1・・・88.4%、中2・・・97.4% 中3・・・98.8%、全体 92.6%</p>
<p>成果の概要</p>	<p>○ 大人が手本を示すまちづくりを推進するために、越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの㊦」のポスターや、家庭学習・家庭生活のすすめリーフレットの活用について、保護者会等で説明を行った。</p> <p>○ 発達の段階に即した「3つの㊦」の推進するために、平成26年度の越生町子ども議会で議決した「越生町3つの㊦条例」や学年別に作成した「家庭学習・家庭生活のすすめリーフレット」を活用して啓発を行うことができた。アンケート結果より、「あいさつ、あしもと、あとしまつ」ともによい傾向にあると言える。</p> <p>○ 幼保・小・中学校の連携強化を図るために、町内の幼稚園、保育園の新入園児の保護者へ「3つの㊦」のポスターを配布し、「3つの㊦」の啓発を行った。</p>	
<p>課題</p>	<p>平成17年度より、3つの㊦運動が展開され、越生町教育委員会では、様々な啓発活動を行ってきた。越生町の3つの㊦は、日頃の生活の中で心がける基本的な事項である。すべての子供たちが当たり前のように実践できるよう継続して啓発を行っていく。</p>	
<p>意見・提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> 「3つの㊦」の取組は、全体的に高い達成率を示している。町として長年継続して取り組んでいる成果と言える。日常生活の中で基本的事項である越生町「3つの㊦」の取組を、今後も学校・家庭・地域と連携し、推進していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果からも、「あいさつ」95.8%、「あしもと」93.7%、「あとかたづけ」91.3%という高い結果が出ている。平成17年度から17年間続けている成果と考える。継続は力なりと思う。是非続けていただきたい。 	

(3) 学校応援団活動の推進

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(3) 学校応援団活動の推進		B
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のニーズに応える学校応援団活動の支援 ○ 越生町の人的資源の活用 ○ 児童・生徒の体験活動等の充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアとして学校への協力・支援を行う保護者・地域の力を応援する。 ・ 学校応援団活動を充実させ、登下校の安全確保や学習のための環境整備を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	学校応援団の推進に係る教育委員会としての取組(学校応援団の推進に係る調査13項目中)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会・教頭会などでの情報提供 ・ 学校応援団推進のための、関係者会議を実施 ・ 広報誌などによる普及・啓発 ・ ボランティア登録をするなど、市町村独自の人材バンクの活用 	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のニーズに応える学校応援団活動の支援を行うために、町長・教育長との意見交換会を実施し、各校のPTAから要望を聴取した。 ○ 越生町の人的資源の活用を図るために、登下校の見守り活動を充実させた。特に、総務課と連携し、交通指導員や見守りボランティアの方々と協力して登下校の安全確保を図ることができた。 ○ 児童・生徒の体験活動等の充実を図るために、梅もぎ、梅干しづくり、学校ファームの活動を支援する人材の紹介や体験活動の協力を行った。 		
課題	<p>今後も学校のニーズに合わせた連携の支援を行う。特に、登下校の見守り活動の他にも学校・家庭・地域が一体となった教育を推進するための支援策を充実させたい。また、学校運営協議会と連携した支援策の検討を行いたい。</p>		
意見 ・ 提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校では、学習や体験活動、環境整備の支援など学校応援団活動が、家庭や地域の協力のもと盛んに行われている。登下校の見守り活動もよく行われている。人材バンクの活用がさらに推進されると良い。人的、物的、関係者会議などの支援を通して、学校応援団活動を推進していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校応援団も素晴らしい活動である。学校運営協議会と連携した支援、学校のニーズに合わせた支援をさらに推進したい。 		

(4) 家庭教育支援体制の充実

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(4) 家庭教育支援体制の充実		B
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の教育力向上への支援 ○ 「親の学習」の推進 ○ 教育に関する相談体制の充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットを活用し、学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせる。 ・ 家庭教育アドバイザーの活用、民生・児童委員との連携、保護者会の工夫等により、発達の段階に応じた「親の学習」の機会を増やし推進する。 ・ 越生子ども未来大学及びサマースクールを実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させる。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	越生子ども未来大学及びサマースクールの実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
	スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問回数	62回 ※ 前年度…30回	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の教育力向上への支援を行うために、リーフレットを使って保護者会や学級懇談会で説明したり、家庭生活・家庭学習に関するアンケートを分析したりして、望ましい生活習慣について示した。 ○ 「親の学習」の推進を図るために、学校に家庭教育アドバイザー派遣についての紹介や就学時検診の際、小学校で実施している家庭教育学級開催の支援を行った。 ○ 教育に関する相談体制の充実を図るために、スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭への支援を行った。家庭への訪問回数も増え、支援が充実していることが伺える。 		
課題	<p>子供たちの生活習慣について、学校・家庭・地域との共通理解を図ることが大切である。中学校では「保育園実習」を計画しているため、「親の学習」のための家庭教育アドバイザーの派遣がなくなった。</p> <p>2年間にわたり、越生子ども未来大学及びサマースクールを実施することができなかったため、それらを補うための支援体制の充実を図りたい。</p>		

**意見
・ 提言**

A氏

- ・ 教育の原点は家庭にあるわけであるが、保護者の価値観が多様化している。今後、ますます家庭教育支援体制の充実を図る必要がある。
- ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットの活用は、学校と家庭が協力して行うことにより、成果を上げているので、今後も継続して取り組んでいただきたい。
- ・ スクールソーシャルワーカーの活動が活発に行われ、家庭への支援効果を上げている。

B氏

- ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」、「より良い学習の進め方」のリーフレットは、基本的な生活習慣や家庭学習習慣の定着のために、有効である。スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問回数が増え、支援が充実してきている。多様な価値観、多様な教育方針など、子どもも家庭も多様化している。保護者には、常に情報発信して、学校としての考え、教育委員会としての考えを継続して発信していく必要がある。

(5) 安全・安心な町づくり

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(5) 安全・安心な町づくり		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援 ○ 学校・家庭・地域の連携強化 ○ 被害を未然に防ぐ体制づくり 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学の安全のため、中学生の自転車通学者はヘルメットを着用する。また、小・中学生とも家庭で自転車に乗る際にも、ヘルメットを着用することを奨励する。 ・ 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保する。 ・ 児童生徒に情報モラルを身に付けさせ、適切に活用できるようにするための学習活動を充実する。 ・ 「地域学校安全指導員（スクールガードリーダー）」、「町内の防犯団体」、「見守り隊（ボランティア）」、「子ども110番の家」などと連携・協力し、児童生徒の安全を確保する。 ・ 学校や学年ごとに活用できる「一斉メール配信」を活用し、防犯情報等を適時適切に保護者に周知できるようにする。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	スクールガードリーダー配置人数・活動回数	越生小学校・・・1名・273回 梅園小学校・・・1名・380回	
	子ども110番の家の指定状況	111軒 ※ 前年度112軒	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援を行うために、スクールガードリーダーを委嘱した。自転車用ヘルメットを小学校卒業生に贈呈し、中学校での自転車通学の安全を確保した。 ○ 学校・家庭・地域の連携強化を図るために、総務課と連携し、交通指導員や見守りボランティアの方々と協力して登下校の安全確保した。 ○ 被害を未然に防ぐ体制づくりを図るために、PTAや学校から要望を募り、通学路の危険箇所を把握した。把握した箇所は、関係各課と連携を図りながら改善を図り、安全が確保できるようにしている。また、防犯情報や雷などの天気の急変等を適時適切に保護者に周知できるよう、「一斉メール配信」の機能を充実させた。 		

<p>課題</p>	<p>経年劣化している道路標識等、通学路の危険箇所を関係課と連携して、適切に改善していく。ネットに潜む危険を回避するために、情報モラルを身につけることは、喫緊の課題となっている。学校・家庭で連携して取り組むだけでなく、効果的な指導方法等を研究していく。</p> <p>町道1—7号線の整備による交通量の変化に対応するための安全対策を講じていく。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が安全に登下校できるために、保護者・地域、スクールガードリーダーなどの見守り活動や「子ども110番の家」など、地域ぐるみの活動は効果的であり、ありがたい。 ・ 児童生徒に情報モラルが身に付くよう、引き続き学校・家庭と連携して取り組んでいただきたい。 ・ 「緊急時連絡メール配信サービス」が整備され、効果的に活用されている。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スクールガードリーダーをはじめ、交通指導員や見守りボランティアの方々により、登下校の安全が確保されている。 <p>子ども達の周りには、事故・不審者・自然災害・SNSなど、いろいろな危険がある。「一斉メール配信」も子ども達の安心安全のために有効であるが、危険を回避する能力を身に付けさせることも必要になる。</p>

Ⅲ 生涯学習の推進

(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価
重点施策	(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進		A
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化、芸術活動によるコミュニティの推進 ○ スポーツを通じた健康づくりの推進 ○ 文化・スポーツ団体への活動支援 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館等サークル団体の活動を支援するとともに、若年層の利用促進を図る。 ・ 手軽にできるスポーツを通じた健康づくりを推進する。 ・ サークル活動を通じてのボランティア活動を推進する。 		
指標と実績	指標	実績	
	公民館・体育施設等の登録団体数	222団体	
	主要事業の参加者数	越生町文化祭： 中止 子どもおはやし大会： 中止 生涯学習町民のつどい： 中止 町民体育祭： 中止 おごせ梅の里コンサート： 中止 七つの祝い： 45人 越生町人権問題講演会：132人 新成人のつどい： 99人 クリーンハイク： 中止	
	体育施設の利用者数	23,191人	
	成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化、芸術活動によるコミュニティの推進を図るために、公民館等を使用する登録団体のうち、町民が過半数以上で構成する団体については、施設使用料を原則免除し、サークル活動の活性化を図った。 ○ スポーツを通じた健康づくりを推進するために、各地区で実施している朝のラジオ体操へ200日以上参加された方を対象に表彰をし、健康維持の促進に努めた。 ○ 文化・スポーツ団体への活動を支援するために、コロナ禍でも町民が安心してサークル活動が楽しめるよう、施設の利用を制限し、利用者全員の体温を記入する「利用者名簿」の提出を求めるなど、安心・安全に努めた。 ○ 整備中のパークゴルフ場の運営・管理に関する意見要望を聴取するために、越生町パークゴルフ場協力委員会議を立ち上げた。 	
課題	<p>公民館等で活動するサークルは、高齢化により会員数が減少する傾向にある。今後もサークル活動が、継続的にできるよう施設の環境整備などを通して、生涯学習の推進に努めていく必要がある。</p> <p>また、スポーツを通じた健康づくりについては、社会構造の変化により年齢と体力に応じた事業を進める必要がある。</p> <p>パークゴルフ場全体のオープンに向け、施設の利用・管理方法についての取りまどめの検討が必要となっている。</p>		

**意見
・ 提言**

A氏

- ・ 人生を心豊かに過ごすために、「一芸・一スポーツ・一ボランティア」の合言葉は、わかりやすく、実践してみたい言葉として定着している。
- ・ 施設使用料の免除、イベント開催、教室・講座の開催、文化・スポーツ団体への活動支援などを通して、生涯学習が推進されている。コロナ禍においても、登録団体数、体育施設の利用者数が増えているのは望ましいことである。
- ・ パークゴルフ場全体のオープンに向けた準備が種々なされているが、供用開始が待ち遠しい。
- ・ 少子高齢化により活動への参加の減少が予測される。今後、イベントや公民館活動、スポーツ活動に手軽に参加できるよう、時代のニーズにあった施策が望まれる。

B氏

- ・ 公民館サークル団体の高齢化により、会員数が減少する傾向にあるが、若年層のニーズに応じた活動や環境整備を推進したい。
- ・ 「一芸・一スポーツ・一ボランティア」を合い言葉に生涯学習が推進できるように、各年齢層の要望に応えた事業の充実に期待する。パークゴルフ場のオープンにより、サークル活動の活性化に期待する。

(2) 越生町が誇る歴史文化の継承と活用

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価
重点施策	(2) 越生が誇る歴史文化の継承と活用		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハイキングのまちと連携した文化財の活用 ○ 郷土の偉人を生かした取組の推進 ○ 文化財の計画的な保護と継承 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の現状を把握し、実態に即した計画的な保存策を講じる。 ・ 身近な文化財や郷土にゆかりある人物の理解を通して、郷土意識の高揚を図る。 ・ ICTを利用し、「ハイキングのまちづくり」と連携した文化財の活用を図る。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	指定・登録制度を活用した文化財の保護及び文化財保護事業並びに文化財活用・普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上谷の大クス倒木対策事業 ・ 龍ヶ谷の障子岩（断層鏡肌）説明板設置事業 ・ 文化財解説板の修繕・新設 ・ 「青天を衝け」周知事業 ・ 研修・見学会への協力 	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財保護事業では、「上谷の大クス」倒木対策工事及び「龍ヶ谷の障子岩（断層鏡肌）」説明板設置工事を実施した。「上谷の大クス」倒木対策では、樹脂製ロープによる支保工設置12本及び鋼製支柱3本の設置を行い、「龍ヶ谷の障子岩（断層鏡肌）」説明板設置工事では、解説文・図からなる説明板を設置した。 ○ 文化財活用・普及事業では、「金子家住宅主屋」、「梅園小学校南分校（黒山学校）」、「大谷ヶ原萬葉公園」の解説版の修繕を実施し、「渋沢平九郎自決の地」、「澁澤平九郎埋首之碑」の解説版を新設した。 <p>また、NHK大河ドラマ『青天を衝け』周知事業では、「越生に散った若き志士 渋沢平九郎展」を越生駅西口総合案内所で開催し、併せてパンフレット2万部を作成し、深谷市・飯能市・東京都北区の施設、博物館等へ送付した。</p> <p>越生小・梅園小3年生の社会科見学や他市町等からの依頼により、研修・見学会へ同行し各文化財についての説明等を行った。</p>		
課題	<p>本町には、さまざまな有形無形の文化財があり、先人から受け継いだこれらの掛け替えのない自然・歴史文化遺産を後世に伝えることは私たちの責務である。</p> <p>しかしながら、有形文化財の防火防犯、史跡名勝天然記念物の現状維持、無形民俗文化財の保存継承など、いずれの文化財も安閑としてられない状況に置かれている。所有・管理者や保存団体と連携して、計画的に適切な施策を講じることが求められている。</p> <p>また、古民具や古文書、土器等については、「おごせは町ごと博物館」などに活かしていきたい。</p>		

意見 ・ 提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハイキングのまちとの連携では、文化財解説板、標柱の整備や ICT を活用した文化財の情報発信は、町民の郷土に対する理解と関心を深めるとともに、町を訪れる人に文化財を知っていただく良い機会となっている。 ・ 町内には有形無形の文化財が沢山ある。指定文化財の保護に補助金の交付、修復、環境整備、普及・啓発、ゆかりの人物を通した郷土意識の涵養など、様々な充実した取組を行っている。今後も文化財保護行政を推進していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「上谷の大クス」 倒木対策事業を実施し、自然遺産を後世に伝えていくことは重要である。また、「金子家住宅主屋」、「梅園小学校南分校」や渋澤平九郎関連の解説版を修繕・新設し、歴史文化遺産を後世や他市町に伝えていくことは重要である。これからも、自然 歴史文化遺産の保護や整備を継続することに期待する。
--------------------	--

(3) 生涯学習施設的环境整備

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価																		
重点施策	(3) 生涯学習施設的环境整備		A																		
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅園コミュニティ館の活性化 ○ 公民館、スポーツ施設的环境整備 ○ 図書館サービスの充実 																				
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅園コミュニティ館内に開設した「越生町立図書館梅園分室」への配本の充実を図る。 ・ 地域に根ざした活動拠点として、ICT環境の充実を図る。 ・ 施設の老朽化に対応した計画的な維持管理に努める。 ・ 町立図書館の蔵書を有効活用し、小中学校図書室との連携を強化する。 ・ 読書手帳による子供たちの図書館利用と読書活動を促進する。 																				
指標 と 実績	指標	実績																			
	公民館等の利用者数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%; text-align: center;">令和3年</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">(令和2年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td style="text-align: center;">1,157人</td> <td style="text-align: center;">(3,755人)</td> </tr> <tr> <td>やまぶき公民館</td> <td style="text-align: center;">7,769人</td> <td style="text-align: center;">(7,297人)</td> </tr> <tr> <td>ゆうがく館</td> <td style="text-align: center;">834人</td> <td style="text-align: center;">(472人)</td> </tr> <tr> <td>梅園コミュニティ館</td> <td style="text-align: center;">902人</td> <td style="text-align: center;">(813人)</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年	(令和2年)	中央公民館	1,157人	(3,755人)	やまぶき公民館	7,769人	(7,297人)	ゆうがく館	834人	(472人)	梅園コミュニティ館	902人	(813人)			
	令和3年	(令和2年)																			
中央公民館	1,157人	(3,755人)																			
やまぶき公民館	7,769人	(7,297人)																			
ゆうがく館	834人	(472人)																			
梅園コミュニティ館	902人	(813人)																			
	図書館の利用実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%; text-align: center;">令和3年</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">(令和2年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td style="text-align: center;">12,376人</td> <td style="text-align: center;">(10,292人)</td> </tr> <tr> <td>図書貸出点数</td> <td style="text-align: center;">48,949点</td> <td style="text-align: center;">(39,027点)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">町民一人当たりの</td> </tr> <tr> <td>貸出点数</td> <td style="text-align: center;">3.9点</td> <td style="text-align: center;">(3.1点)</td> </tr> <tr> <td>蔵書点数</td> <td style="text-align: center;">7.7点</td> <td style="text-align: center;">(7.6点)</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年	(令和2年)	利用延べ人数	12,376人	(10,292人)	図書貸出点数	48,949点	(39,027点)	町民一人当たりの			貸出点数	3.9点	(3.1点)	蔵書点数	7.7点	(7.6点)
	令和3年	(令和2年)																			
利用延べ人数	12,376人	(10,292人)																			
図書貸出点数	48,949点	(39,027点)																			
町民一人当たりの																					
貸出点数	3.9点	(3.1点)																			
蔵書点数	7.7点	(7.6点)																			
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票などの一部証明書の発行取次業務を行い、梅園コミュニティ館の活用と地域の利便性の向上に努めた。 ○ 中央公民館体育館の耐震化及びトイレ・更衣室の改修を行い、利用者の安全性向上と環境改善に努めた。 ○ 町立図書館で借り受けた図書を、越生駅西口総合案内所及び梅園コミュニティ館に返却できるサービスを開始した。 また、越生駅西口総合案内所には、リサイクル図書コーナーを設置し、図書の有効活用と利用者の利便性に配慮した。 																				
課題	<p>各施設とも築30年以上経過しているため、大規模改修や設備の更新時期が到来している。災害時の指定避難場所でもあることから、安全性の確保を含めた早期の対応をする必要がある。</p> <p>また、図書館の利用促進として、越生町立図書館梅園分室の運営、新規事業の開催等のサービスの充実により、一定の成果が挙げられた。利用者、貸出数を維持してい</p>																				

	<p>くためには、引き続き、図書等資料の充実とともに、新たなサービスにより利用促進に努めていく必要がある。</p> <p>越生駅西口総合案内所の充実を図り、駅利用者による更なる図書の利活用向上に努めたい。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅園コミュニティ館の新規事業等により、活用と地域の利便性の向上等、梅園コミュニティ館の活性化が進んでいることは良いことである。 ・ 公民館やスポーツ施設の老朽化に対応した改修や設備の更新を計画的に行っていただきたい。 ・ 図書館では、梅園分室の運営や小中学校図書館との連携、新規事業の開催等のサービスの充実による利用促進に努め、成果を上げている。図書館の利用者数、図書の貸出点数も増えている。今後も利用者、貸出点数の維持・向上に向け、図書等の充実に努めていただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅園コミュニティ館の活用が図られ、地域の利便性の向上が見られるのは良い。中央公民館体育館の改修を行い、利用者の安全性向上と環境改善に務めたのは良い。図書館の利用促進として新たなサービスを充実し、成果を上げたのは喜ばしい。越生駅西口総合案内所の充実を図り、更なる図書の利用向上に期待する。

5 教育委員会会議等の活動状況

(1) 委員会構成

教育長	教育長 職務代理者	委員	委員	委員
吉澤 勝 ※ 9月30日まで	原口 仁 ※ 9月30日まで	竹内 晴美	内藤 久美子	仲 晃良
原口 仁 ※ 10月1日から	青柳 高 ※ 10月1日から			

(2) 会議等の開催

教育委員会会議は、定例会を9回開催し、議案等を審議いたしました。また、首長部局が事務局となる「越生町総合教育会議」を1回開催いたしました。

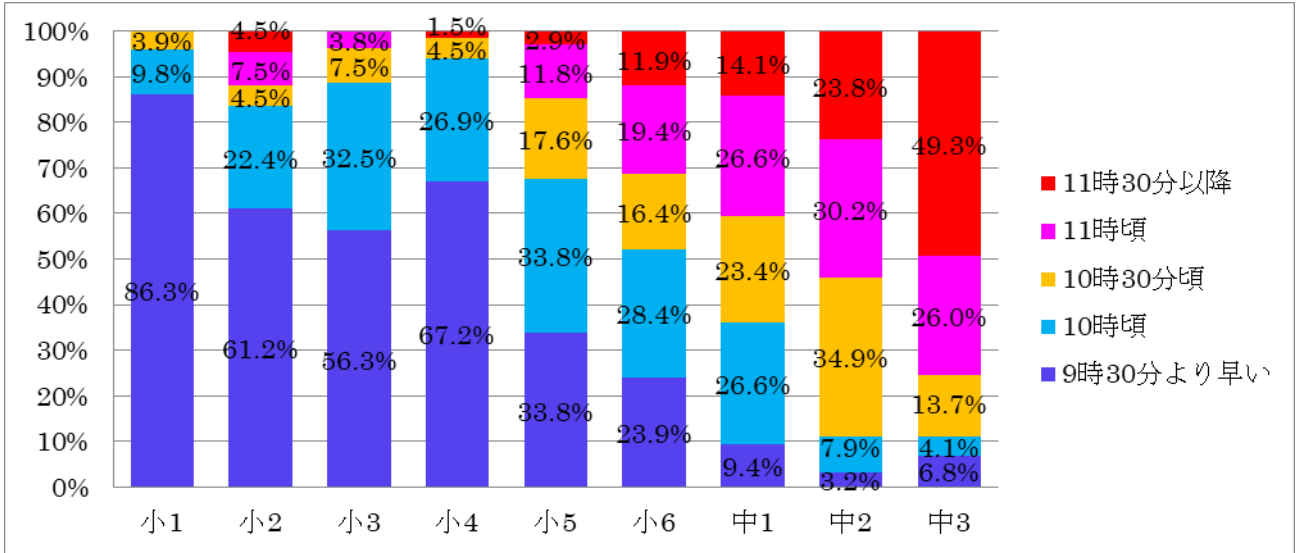
会議・開催日	議案等
令和3年第3回 ・5月12日	議案第 6号 令和3年度越生町教育委員会教育費補正予算について 承認第 3号 「教育要覧おごせ」令和3年度版の発行について 報告第 5号 社会教育委員の委嘱について 報告第 6号 スポーツ推進委員の委嘱について
令和3年第4回 ・6月9日	報告第 7号 令和3年第2回（6月）越生町議会定例会について
令和3年第5回 ・7月15日	協議第 2号 令和2年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書について 協議第 3号 令和4年度使用教科書の第11採択地区教科用図書採択協議会選定（案）について 協議第 4号 越生町立小中学校2学期制継続検証委員会設置要綱について
令和3年第6回 ・8月4日	議案第 7号 令和4年度使用中学校用教科用図書（社会科 歴史的分野）の採択について 議案第 8号 令和2年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書について 議案第 9号 令和3年度越生町教育委員会教育費補正予算について 議案第10号 令和3年度埼玉県学力・学習状況調査結果及び令和3年度全国学力・学習状況調査結果の公表について 協議第 5号 越生町立小中学校2学期制継続検証委員会設置要綱について 承認第 4号 越生町教育委員会の後援名義使用について

令和3年第7回 ・9月24日	議案第11号 令和4年度当初越生町教職員人事異動方針について 議案第12号 越生町立小中学校二学期制継続検証委員会設置要綱について 報告第8号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第9号 令和3年第3回(9月)越生町議会定例会について
令和3年第6回 ・10月12日	報告第10号 「UDACCO(ウダッコ)ファーストコンサート」の開催日程について
令和3年第7回 ・11月10日	議案第13号 令和3年度越生町教育委員会教育費補正予算について 協議第6号 令和4年度当初越生町教育委員会教育費予算について
総合教育会議 ・11月10日	越生町の教育行政について 教育環境の現状と今後の課題について 学校施設の整備状況について
令和4年第1回 ・2月9日 ※ 書面開催	議案第1号 越生町立小・中学校管理職人事異動案について 議案第2号 令和3年度越生町教育委員会教育費補正予算について 議案第3号 令和4年度当初越生町教育委員会教育費予算について 議案第4号 越生町立学校県費教職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について 協議第1号 令和4年度越生町教育行政重点施策について
令和4年第2回 ・3月16日	議案第5号 令和4年度越生町教育行政重点施策について 承認第1号 越生町教育委員会の後援名義使用について 承認第2号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第1号 専決処分の報告について 報告第2号 令和4年第1回(3月)越生町議会定例会について 報告第3号 就学援助費認定状況について

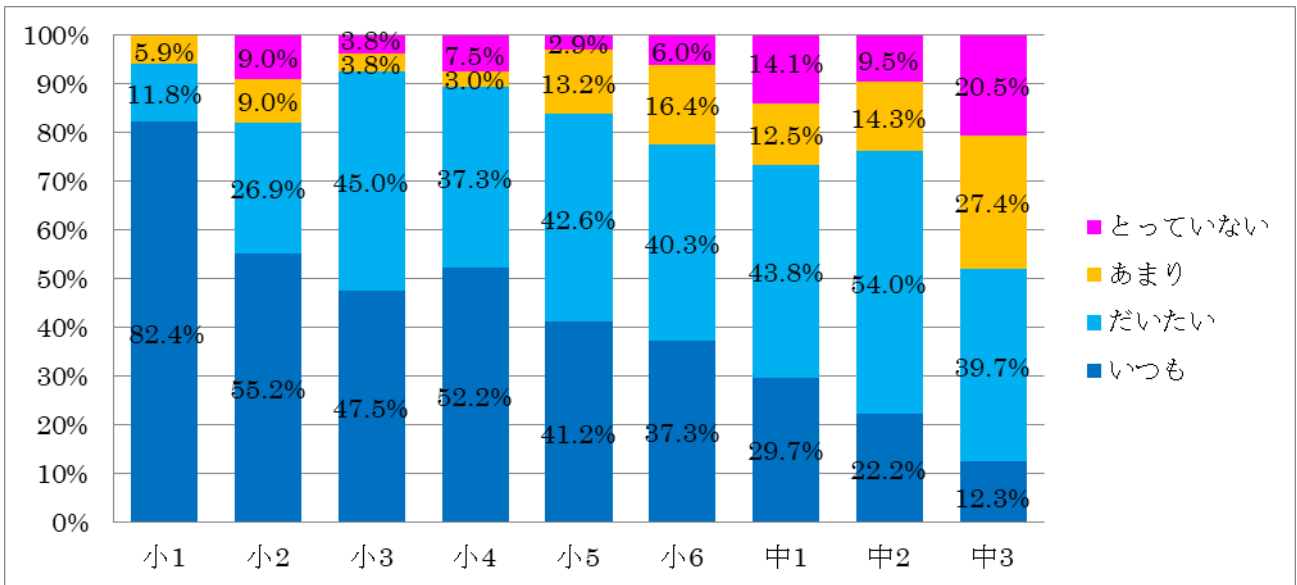
6 (参考資料) 令和3年度「家庭生活・家庭学習・3つの㊟」についてのアンケート集計

1 「早寝」「早起き」「朝ご飯」について

① 学校のある日は、何時ごろに寝ていますか。



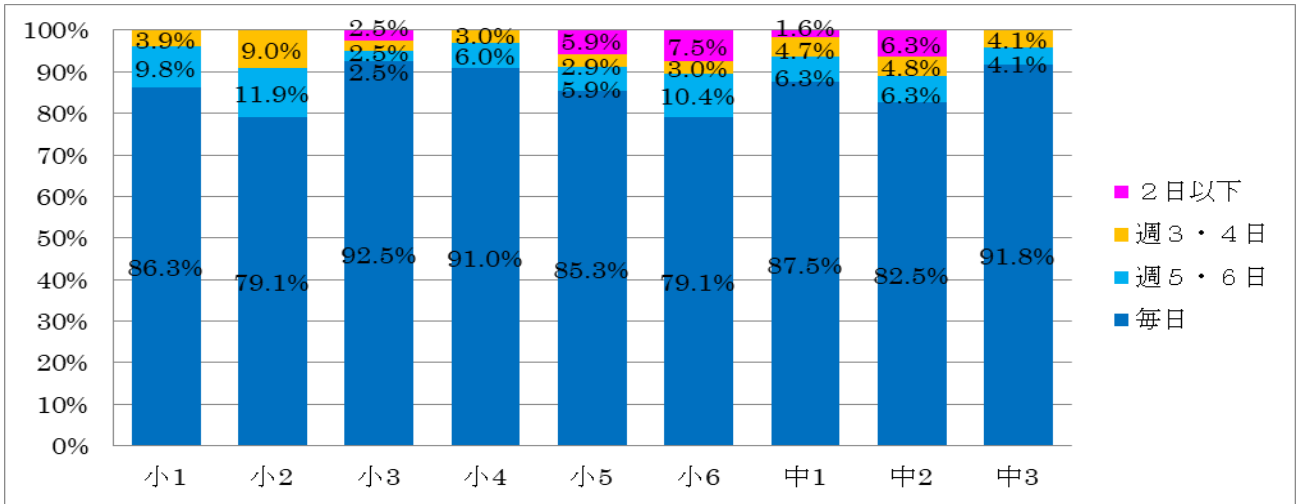
② 学校のある日は、「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した睡眠時間のめやす以上睡眠をとっていますか。



※ 各学年の睡眠のめやす

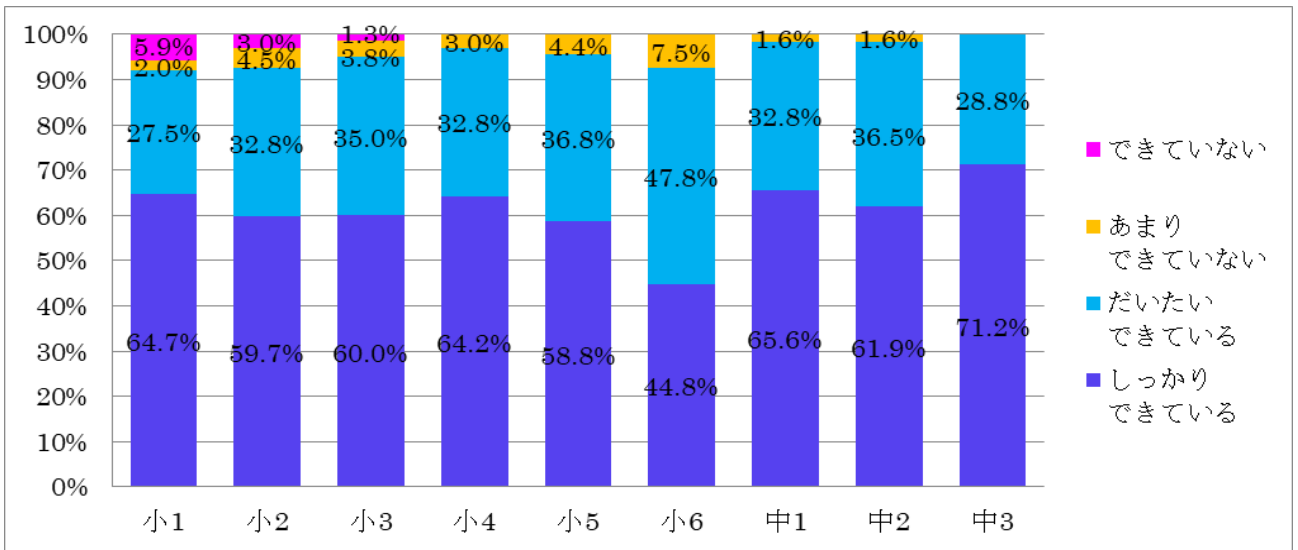
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9時間				8時間		7時間30分		

③「朝ご飯」をしっかりと食べていますか。

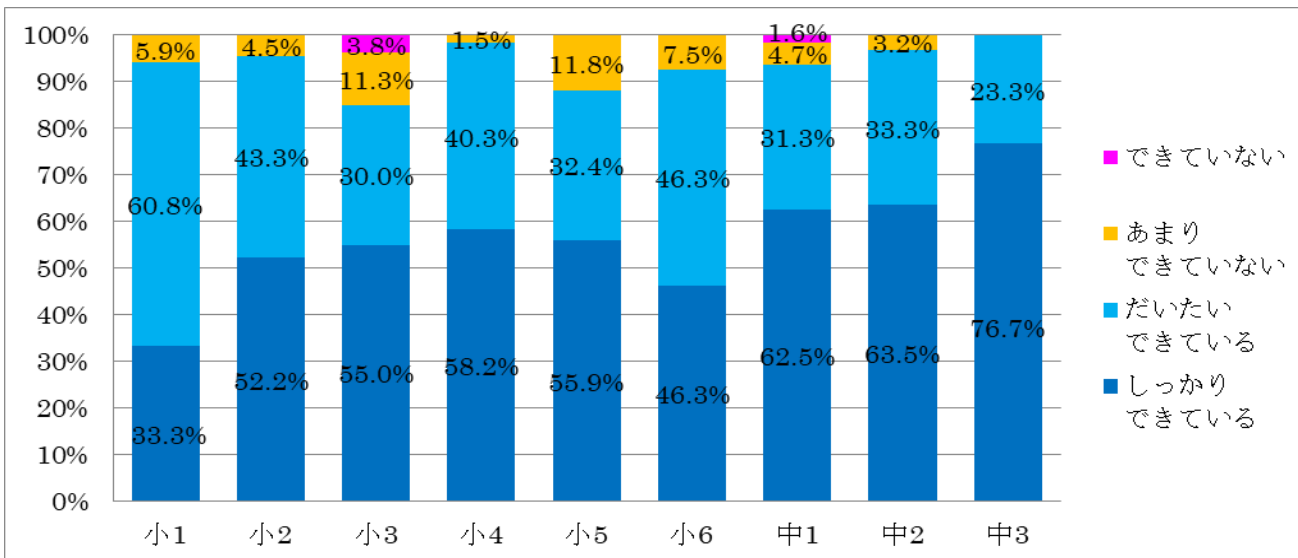


② 「3つのⓐ」について

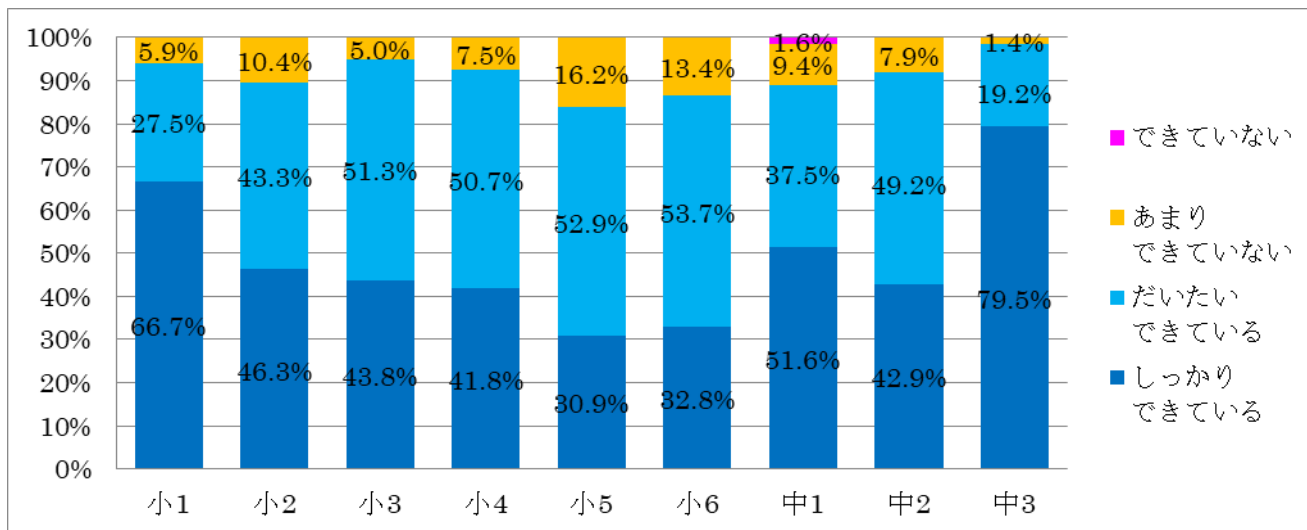
①【あいさつ】心をこめた「あいさつ」をし、友達と仲良く生活できていますか。



②【あしもと】はきものやロッカーの整理整頓をし、けじめある生活をしていますか。



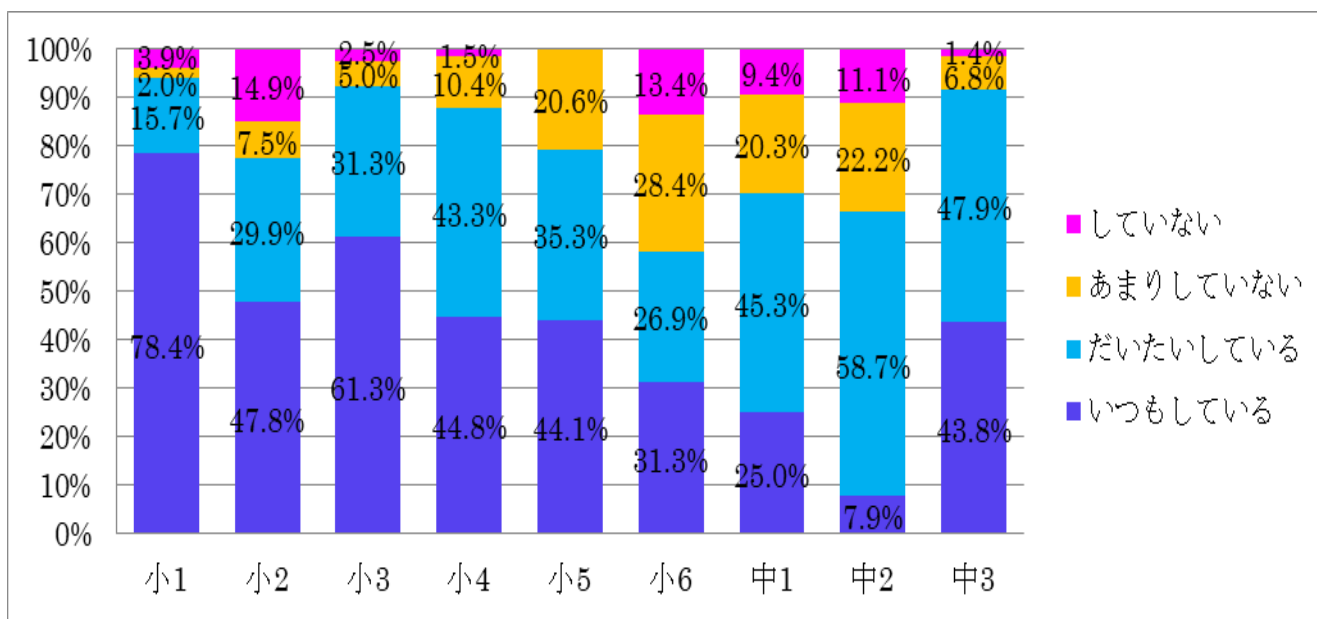
③【あとしまつ】何事も最後までやりとげ、責任もった行動をしていますか。



③ 家で、毎日の勉強について

①「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した学習のめやす以上学習に取り組んでいますか。

※ 宿題・塾・習い事を含む

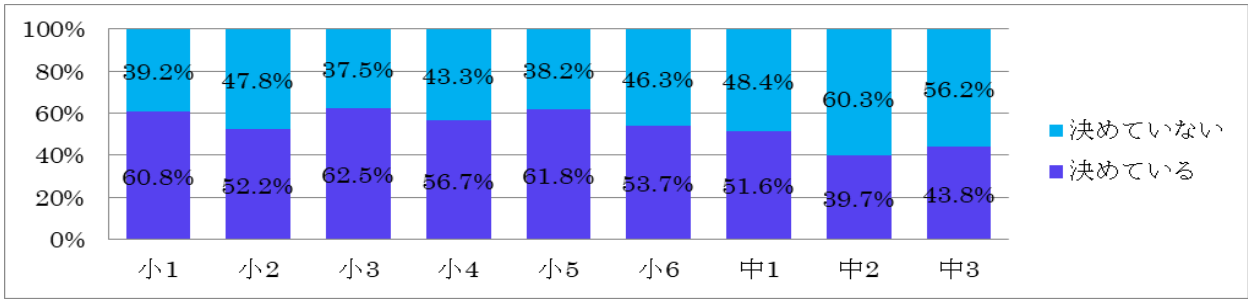


※ 各学年の学習のめやす

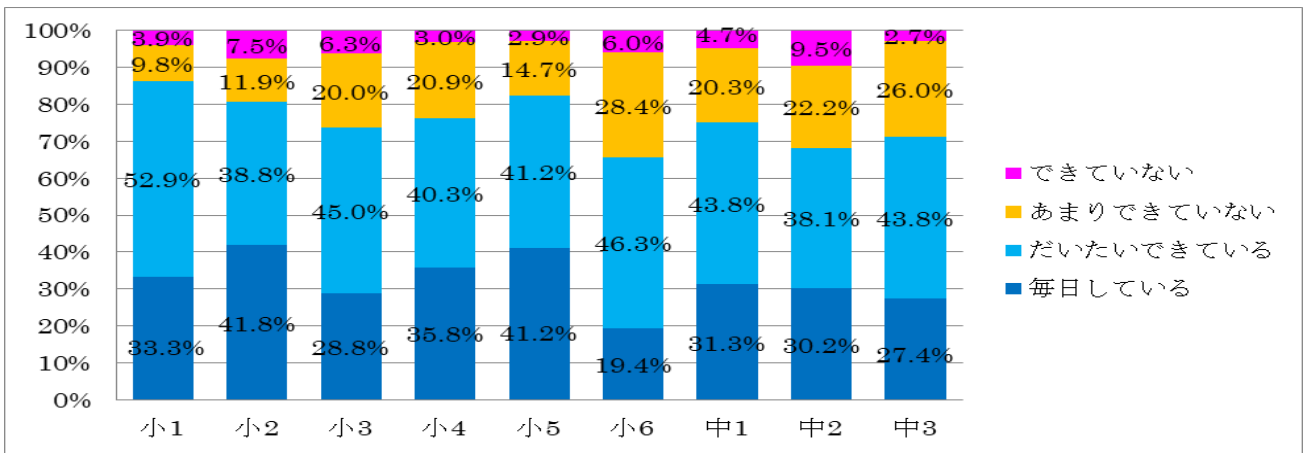
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
15分	20分	30分	40分	50分	60分	60分	90分	120分

4 家のお手伝いについて

① 自分のお手伝いの分担を決めていますか。



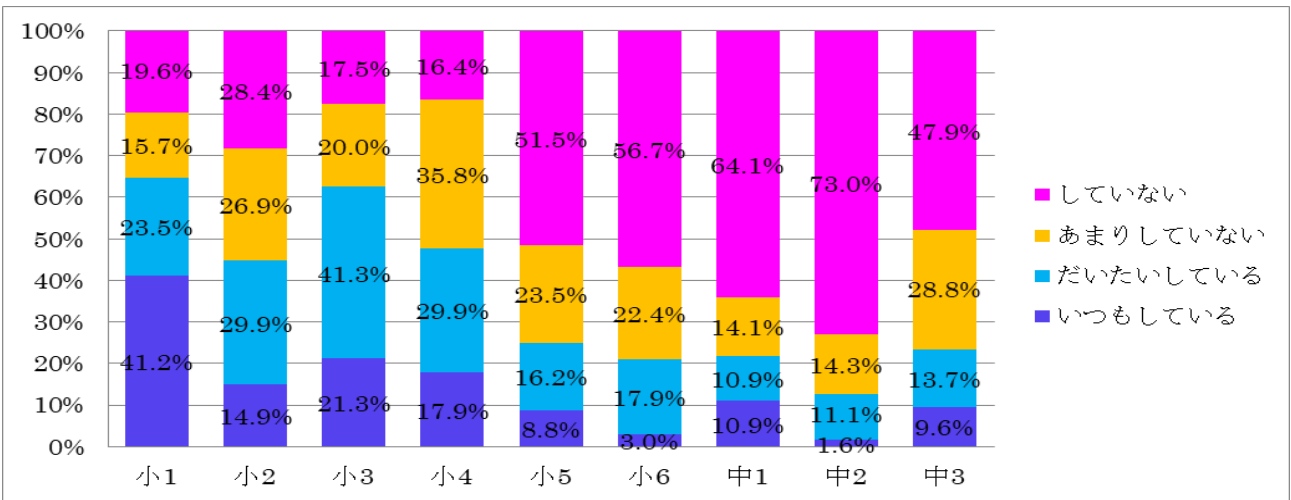
② 毎日、家のお手伝いをしていますか。



5 ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットについて

① 週に1回、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットデーを作り、守っていますか。

(スマホやタブレットPCなどで動画を見る時間も含まれます。)



令和4年度越生町教育委員会
事務局点検評価報告書

[対象：令和3年度の教育行政施策]

令和4年8月

編集・発行

越生町教育委員会

埼玉県入間郡越生町大字越生 917 番地

電話 049-292-3121 (代)

Eメール kyouiku1@town.ogose.saitama.jp